

Q. 調査票2は増員を希望しない病院も提出するのか。

A. 必要ありません。

Q. 医師少数区域とはどこか。

A. 医師少数区域とは医師偏在指標が全国下位1/3の2次医療圏を指します。

令和2年2月18日現在、厚生労働省が医師偏在指標の確定版を公表していないので個別の地域が該当するかどうかお知らせできません。本件に該当すると思われる場合は、お手数ですが当該地域名とともに、所在する都道府県名と二次医療圏も併せてご記載ください。

Q. 研修医当たりの取扱分娩件数は協力施設で研修をしている場合も記載するか。

A. 記載いただければ評価対象とします。

Q. インシデントが0件の場合は、調査票の件数欄に何かしら記載する必要があるのか。

A. 必要ありません。府としては、報告も研修の一環と捉えて象徴的に1件としているもので、研修医がインシデントを起こすことを前提にしておりません。本調査項目の設置趣旨は、第2段階評価（総合評価）の項目として、画一的に数値で線引きせず、「医療の質と安全の管理」の研修について各病院の様々な具体的取組を評価することです。

Q. JCEPではインシデント報告を10件求めているが。

A. 本調査票の性格上、各病院で数合わせの議論が進むことは本項目の趣旨と異なるため、10件とはしておりません。

Q. 学会発表の計上する期間は。

A. 平成31年4月から令和2年3月まで。

（既に決まっている令和2年3月までの発表予定分も計上していただいて構いませんが、演題・発表者を確認できる資料又は学会ホームページ等をご提示をお願いします。）

Q. 救急搬送件数の指標を用いないのか。

A. 御意見として承ります。

Q. アピールポイントの書き方が分からない。

A. 例えば、臨床研修の到達目標、方略及び評価に掲げられている内容に沿って記載いただくことも可能です。

Q. 新型コロナウイルスの影響により学会が中止になった場合に救済措置はあるか。

A. 2月1日から3月31日までの分については、発表予定だったものとして計上いただ

いて構いません。

Q. 令和2年度修了予定の者が1人も産婦人科を選択していない場合は、どのように記載すればよいか。

A. 研修医1人当たり分娩件数は、0件としてください。

Q. 医療対策協議会とは何か。

A. 大阪府HPのリンクを掲載いたしますのでご確認ください。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/isikakuho/iryotaisakukyogikai.html>)